



協力：独立行政法人 日本学生支援機構

基礎からわかる!

奨学金ガイド

奨学金は、利用できる制度を調べて、
自ら申請しなければなりません



大学進学には どのくらいのお金が必要？

初年度納付金(入学金、授業料など)、
教材費、生活費、交通費など、
まとまったお金が必要になります。
経済的な負担が心配な場合は、
奨学金を利用するの
1つの方法です。



私立大学・文系の場合

初年度納付金(平均額/昼間部)

121万2,235円

4年間では

418万9,087円

※文部科学省「私立大学等の令和7年度
入学者に係る学生納付金等調査結果」より算出

私立大学・理系の場合

初年度納付金(平均額/昼間部)

160万2,053円

4年間では

567万2,126円

※文部科学省「私立大学等の令和7年度
入学者に係る学生納付金等調査結果」より算出
※医歯系は含まない

国立大学の場合

初年度納付金(標準額/昼間部)

81万7,800円

4年間では

242万5,200円

※国立大学入学科、授業料より算出

入学までに必要な費用

下宿生の場合

144万5400円

(全国平均)

併願大学への納付金や、
教科書やパソコンなどの教材、
生活用品などの購入費など

上記のうち

一人暮らしに必要な初期費用
(お部屋探し交通・宿泊費+引越費用+
入居費用+新生活用品)

全国平均 59万8,000円

1都3県平均 67万2,400円

※全国大学生生活協同組合連合会
「2025年度保護者に聞く新入生調査報告書」より

入学までに必要な費用

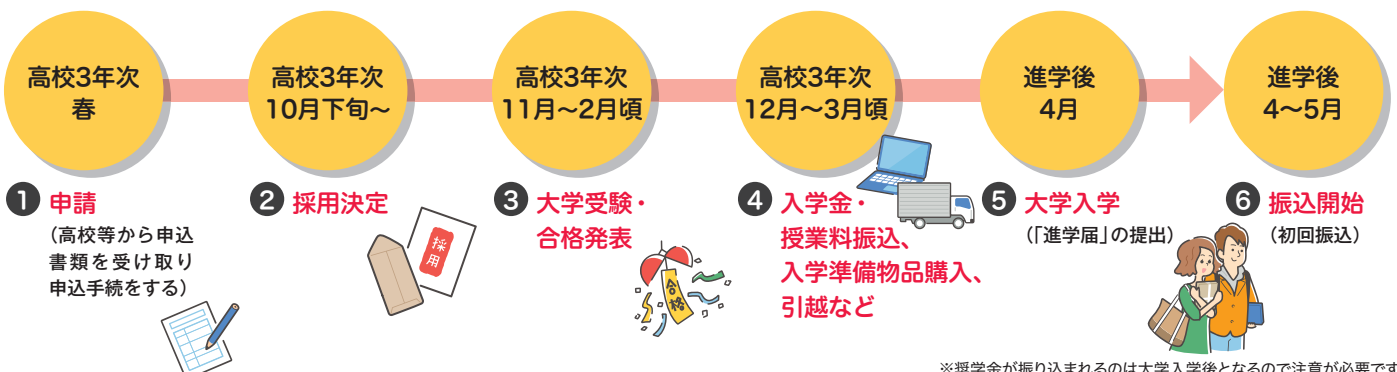
自宅生の場合

71万200円

(全国平均)

国が行う奨学金の申請から受給までのタイムスケジュール例

※予約採用の場合



※奨学金が振り込まれるのは大学入学後となるので注意が必要です。

進学をサポートする 奨学金制度とは？

経済的な理由や家庭の事情で進学が難しい学生のために、学費・生活費の給付や貸与を行う制度です。



奨学金には2種類がある

給付型

大学卒業後の返還は不要。貸与型よりも採用基準(世帯年収や学力基準)が厳しい場合が多い。

貸与型

大学卒業後に返還が必要(有利子のものと無利子のものがある)。給付型に比べると実施している団体が多い。

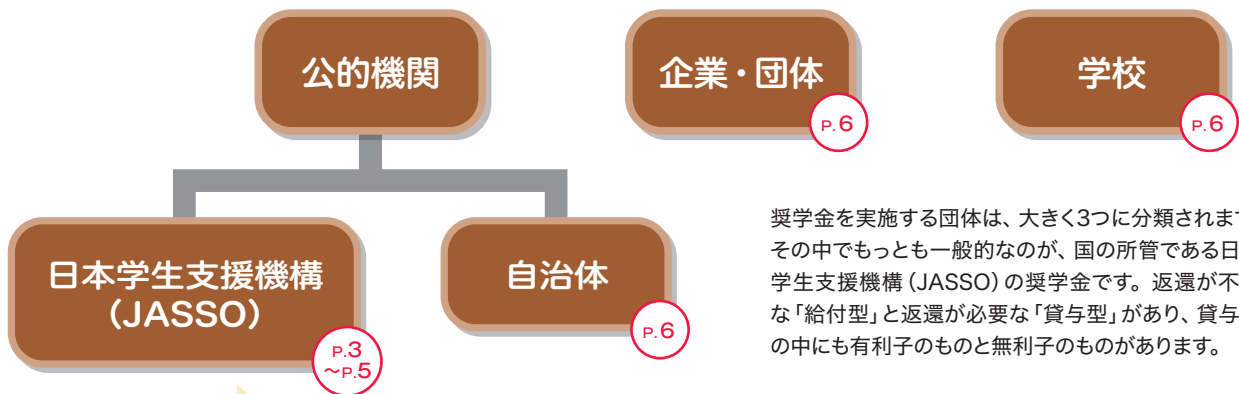
使い道は原則として自由！

奨学金の使い道には規定がないのが一般的。大学に納める授業料のほか、海外留学の費用や家賃、生活費などに充てても構いません。



奨学金を受給するのは「保護者」ではなく「学生本人」であることに注意。特に貸与型の場合は、卒業後に本人が返還するため、必要な金額を無理のない返還計画で利用することが大切です。

奨学金実施団体の分類



奨学金を実施する団体は、大きく3つに分類されます。中でももっとも一般的なのが、国の所管である日本学生支援機構(JASSO)の奨学金です。返還が不要な「給付型」と返還が必要な「貸与型」があり、貸与型の中にも有利子のものと無利子のものがあります。

給付型

高等教育の修学支援新制度
給付型奨学金
授業料・入学金の免除・減額
大学卒業後の返還は不要。

貸与型

利子なし

第一種奨学金

大学卒業後に返還が必要だが、利子はない。

利子あり

第二種奨学金

大学卒業後に「貸与額+利子分」の返還が必要。

JASSOは、国の学生支援事業を総合的に実施する機関です。JASSOの奨学金には採用人数に上限はなく、申請者が「学力」「世帯年収」において基準を満たしていることが確認できれば採用されるのが特長です。詳細はP.3-P.5をご覧ください。

JASSOの 給付型奨学金とは？ ～高等教育の修学支援新制度～

世帯年収や家族構成に応じて、奨学金とは別に、授業料の減免も受けられますよ。



給付型奨学金 + 授業料・入学金の免除・減額

「給付型奨学金」と「授業料・入学金の免除・減額」によって、学費と生活費の両面から進学を支援する制度です。それぞれの概要を押さえておきましょう。

【給付型奨学金】について

学力基準

高校の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上（5段階評価）。上記に該当しない場合は、レポートまたは面談により学修意欲や進学目的等が認められること。

家計基準

世帯年収などの要件を満たしていること。

※基準を満たす世帯年収は家族構成等により異なる。

毎月の支給額

給付型奨学金の最高月額、下表の通り。図1・図2（p.4）に記載の年収目安（第Ⅰ～Ⅳ区分）に応じて、最高月額の満額、2/3、1/3、1/4（多子世帯）が支給されます。

※第Ⅳ区分は多子世帯を対象とする1/4支援（p.4 図2）。

表1 給付型奨学金の最高月額（大学・短大・専門学校）

※通学課程の場合

給付型奨学金	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円

※年収目安（4人世帯） 約270万円の場合

【授業料・入学金の免除・減額】について

下表中の金額を上限として、図1に記載の年収目安に応じて4段階の支援が受けられます。なお、私立の大学、短大、専門学校等の理工農系に進学する場合は、年収目安が約600万円程度（第Ⅳ区分）の場合にも、支援を受けられます。

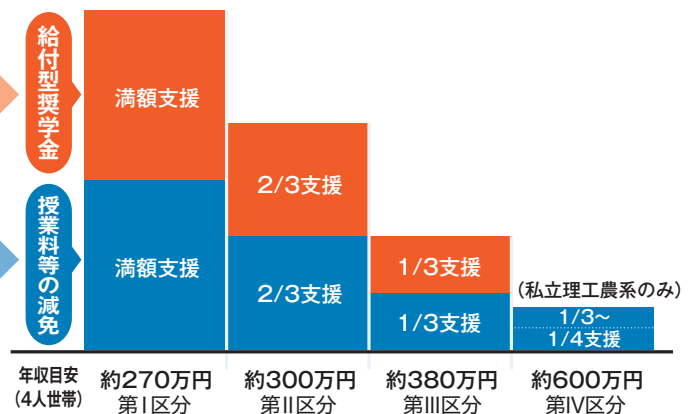
表2 授業料・入学金の免除・減額の上限額（年額）

※大学の場合

授業料等の減免	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円

※年収の目安（4人世帯） 約270万円の場合

図1 給付型奨学金・授業料等の減免の支援イメージ



例

年収約270万円の4人家族（扶養する子ども2人）のAさん（私立大学、自宅通学）が【給付型奨学金】と【授業料・入学金の免除・減額】を受ける場合。

1 年収から該当区分を確認

図1から、4人世帯で年収約270万円の場合は「第Ⅰ区分」に該当。【給付型奨学金】、【授業料・入学金の免除・減額】いずれも「満額支援」が受けられる。

2 【給付型奨学金】の金額を確認

表1から、「私立大学、自宅通学」の金額は月額38,300円。「第Ⅰ区分」のAさんは「満額支給」が可能。

3 【授業料・入学金の免除・減額】の金額を確認

表2から、私立大学の「入学金」の支援上限は約26万円、「授業料」の支援上限は約70万円。「第Ⅰ区分」のAさんはこの金額を上限として、大学への支払金額の「満額支給」が可能。

扶養する子どもが3人以上いる多子世帯の方は P.4へ

扶養する子どもが3人以上の方へ

【多子世帯の
授業料等減免】について

扶養する子どもが3人以上の世帯は、世帯年収や奨学金の受給の有無に関わらず、大学等の授業料・入学金の支援を上限額まで受けられます。



表1 給付型奨学金の最高月額(大学・短大・専門学校)

※通学課程の場合

給付型奨学金	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円

※年収目安(5人世帯) 約320万円の場合

図2 給付型奨学金・授業料等の減免の支援イメージ(多子世帯)

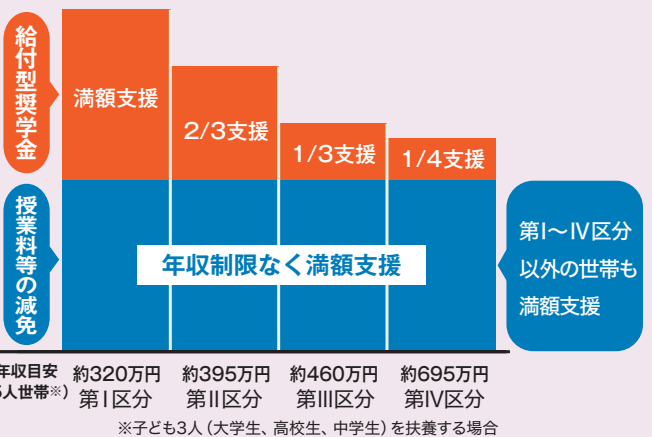


表2 授業料・入学金の免除・減額の上限額(年額)

※大学の場合

授業料等の減免	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円

例 年収約800万円の5人家族(扶養する子ども3人)の多子世帯のBさん(私立大学、自宅通学)が【授業料・入学金の免除・減額】を受ける場合。

1 年収から該当区分を確認

図2から、年収800万円は第1~IV区分のいずれにも該当しないため【給付型奨学金】は受けられないが、【授業料・入学金の免除・減額】には年収制限がないため、表2の私立大学の「入学金」の支援上限約26万円、「授業料」の支援上限約70万円まで受給が可能。

JASSOの奨学金(給付型・貸与型)はいつ・どのように申し込むの?

JASSOの奨学金が振り込まれるのは大学入学後ですが、高校3年次(4月~)に申請(予約採用)をしておく、振込開始までの期間が短く安心です。奨学金を検討、申請する場合は、JASSOが発行する「奨学金案内」「申込みのてびき」などの各種資料を、学校(高校)を通じて入手しましょう。申請のスケジュールは学校により異なるので、先生に確認して早めの準備が大切です。

※進学先によって受給対象外となる学校があります。詳しくは文部科学省またはJASSOのウェブサイトを確認してください。

● 申し込みの流れ(予約採用の場合)



生徒 JASSO発行資料を受け取り、在籍する高校を通して申請(一部書類は、インターネットや郵送でJASSOへ提出)。

高校※1 採用基準を満たしていることを確認してJASSOに申請。

JASSO※2 採用基準を満たしていることが確認できれば採用を決定(結果は高校へ通知)。

※1 大学入学後に奨学金が必要になった場合は、大学を通して申請できますが、予約採用よりも振込開始までに時間がかかります。

※2 個人がJASSOに直接申し込むことはできません。

JASSOの貸与型奨学金とは？

JASSOの貸与型奨学金には、利子につかない「第一種奨学金」と利子がつく「第二種奨学金」があります。両者には、採用基準に違いがあります。

奨学金を借りたいけど、ちゃんと返せるか不安です…。



貸与型奨学金は2種類

貸与型



無理なく返せるよう、資金計画を立てたうえで借りることが大切ですよ。

利子なし 第一種奨学金

※予約採用(進学前に奨学金を申し込む)

学力基準

高校の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.5以上(5段階評価)。
3.5未満でも、以下の人は学修意欲が学校で確認できた場合は対象。
・住民税非課税世帯、生活保護受給世帯の生徒または社会的養護を必要とする人(児童養護施設の入所者等)。

家計基準(4人世帯の場合)

申込時の世帯年収が
・給与所得世帯(会社員等): 803万円程度。
・給与所得以外の世帯(自営業等): 552万円程度。
※上記は標準的なモデルに基づく目安。

毎月の貸与額

月額2万円~6.4万円の間で決められた金額から選択。
(進学する学校種や通学環境で貸与額の上限が決まっています)

利子あり 第二種奨学金

※予約採用(進学前に奨学金を申し込む)

学力基準

以下のいずれかに該当。
・高校の成績が平均水準以上。
・特定分野で特に優れた資質能力がある。
・大学などでの学修意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある。

家計基準(4人世帯の場合)

申込時の世帯年収が
・給与所得世帯(会社員等): 1,250万円程度。
・給与所得以外の世帯(自営業等): 892万円程度。
※上記は標準的なモデルに基づく目安。

毎月の貸与額

月額2万円~12万円の間で1万円単位で選択。
(進学先が私立大の医・歯学部、もしくは薬・獣医学部の場合、給付額の増額が可能です)
※利率の算定方法は「固定」「見直し」から選択できます。

家計基準は世帯人数などによって異なるので、必ず調べておきましょう。



卒業後の返還は月々どのくらい？

(第一種奨学金(利子なし)を月額45,000円・4年間貸与した場合)

4年間の貸与総額 2,160,000円

毎月約12,900円を14年間で返還

※定額返還方式の場合

貸与総額に応じて毎月^{※1}の返還金額が決まる「定額返還方式」が基本で、第一種奨学金(利子なし)の場合は「所得連動返還方式^{※2}」も選択できます。第二種奨学金(利子あり)の場合、在学中は無利子ですが、貸与終了の翌月から利子が発生します。なお、失業や疾病、災害などの事情により返還が困難になった場合には、減額返還や返還期限猶予といった救済制度があります。

※1 返還方式は、「毎月定額」または「毎月の返還額をおさえて1、7月に多く返還」の2つから選択可。

※2 前年の所得金額に応じて毎月の返還金額が決まる方式。

JASSOの給付型・貸与型奨学金についての詳細は、JASSOのウェブサイトでご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/index.html>



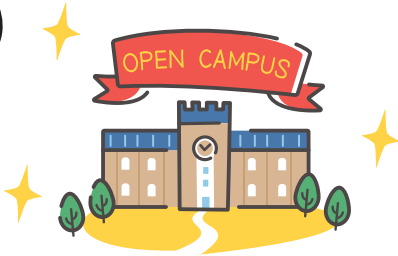
国の奨学金以外には、 どんな奨学金があるの？

JASSOの奨学金以外にも、自治体、企業・団体、学校などによる独自の奨学金が多数あります。返還不要のものもあるので、該当する奨学金がないか、調べてみるのがおすすめです。



学校独自の奨学金もあるんですか？

はい。最近は、給付型のものが多いですね。オープンキャンパスなどで確認してみましょう



自治体の奨学金

「貸与型(利子なし)」が多い。居住の自治体ウェブサイトなどで情報収集を。

企業・団体の奨学金

近年は、民間の企業・団体が、特色ある奨学金制度を設けている。返還不要な給付型の奨学金も多い。

学校独自の奨学金

返還不要の給付型が多いのが特徴。旺文社「パスナビ」やJASSOのウェブサイトなどで情報を検索できる。

旺文社は大学進学を目指すみなさんを応援します。

月刊誌

大学合格サポートマガジン!
「合格力」を高める情報で
志望校合格を手に入れよう。



螢雪時代



臨時増刊

進路選び・入試対策の必須データ集!
最新のデータで大学選びと
受験計画づくりを徹底サポート。



螢雪時代
臨時増刊



Web

受験生のための大学受験情報サイト!
「螢雪時代」と連携して
時期に合わせた情報を発信



旺文社
大学受験
パスナビ



旺文社



<https://www.obunsha.co.jp>

お求めはお近くの書店、ネット書店で。